



# 福井県社会福祉協議会 アクションレポート

令和4年3月25日 No.6

社会福祉法人 福井県社会福祉協議会 総務企画課  
〒910-8516 福井市光陽2丁目3-22  
TEL 0776-24-2339 / FAX 0776-24-8941 / E-mail somu@f-shakyo.or.jp

このアクションレポートは、本会の主な事業等の進捗を定期的にお知らせするために、役員および関係機関向けに発行させていただくものです。

## 今回号の内容

- 「子どもの居場所づくり講座」開催
- 「3.11 希望の灯り・点灯式 2022」オンライン配信
- 「つなぐ福幸メッセ」ショートムービー公開中
- 「災害ボランティアセンター運営者研修」開催
- 「災害に備えた協定団体連絡会議」開催
- 「第2回ふくい福祉就職フェア」開催
- 生活福祉資金特例貸付の延長について
- 3月理事会・評議員会開催報告

## 「子どもの居場所づくり講座」をオンライン開催

3月8日(火)、子ども食堂等子どもの居場所づくりに取り組む方や希望する方を対象に「子どもの居場所づくり講座」をオンラインで開催しました。

はじめに、子ども食堂や学習支援など地域密着で活動を継続されているNPO法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク理事長 栗林 知絵子氏から「子ども食堂のチカラ～今、私たちにできること～」をテーマに講義をいただきました。

次に、福井県健康福祉部医薬食品・衛生課より、食事を提供する際の「衛生管理」について指導いただき、安全な運営のポイントを確認しました。また、「助成金」の活用法を学んだあとは、情報交換会『share&share』を行い、活動における様々な悩みを共有し、課題解決のヒントを得ることができました。

現在、福井県では40を超える「子ども食堂」が活動しています。また、活動に携わりたいと考える方も年々増加傾向にあります。

今回の講座では、これまでの経験値はそれぞれ違いますが、「誰かの力になりたい」というキーワードを共有する皆さんの学びの場になりました。

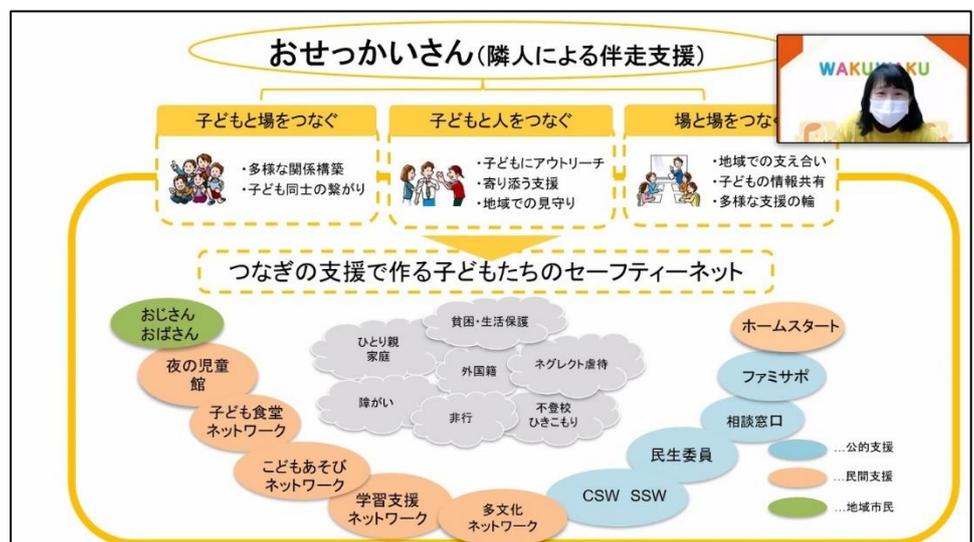
### 基本目標1

社会的孤立を生まない地域づくり

### 5つのチャレンジ②

子どもの貧困・貧困の連鎖をなくすための取組み強化

### 関連するSDGsゴール



オンライン講義の様子

### 「3.11 希望の灯り・点灯式 2022」をオンライン配信

平成23年3月11日に発生した「東日本大震災」から、今年で11年。

震災当時、福井県内の社協が岩手県陸前高田市で活動したご縁から、同市に平成23年12月に設置されたガス灯『3.11希望の灯り』から平成24年2月に分灯していただき、同年3月9日、県内社協に設置された越前焼の燭台に点灯して犠牲者の鎮魂と復興への祈りを捧げました。それ以降、毎年3月には、県社協と市町社協でこの燭台への点灯と黙とうを行っています。

今年も、昨年に引き続き、陸前高田市とオンラインでつなぎ、現地の『3.11希望の灯り』から越前焼の燭台への採火を行い、その後本会の燭台へ点灯し、その模様をライブでも配信しました。

そして、発災時刻である14時46分には、陸前高田の皆さんとともに黙とうを行い、震災の風化を防ぎ、被災地の復興に向けた希望や願いを分かち合っていくことを確認しました。

なお、点灯式の録画映像は本会のYouTubeチャンネルでご覧いただけます。



**こころでつながろう！福井**

### 「つなぐ福幸メッセ」ショートムービー公開中

本会 YouTube チャンネル  
QR コード



URL

[https://www.youtube.com/channel/UCE\\_veyBblW2b6T0-6Hq0xvQ](https://www.youtube.com/channel/UCE_veyBblW2b6T0-6Hq0xvQ)



本会では、今年度、「『コロナ禍を生きる、支える』みんなのエール」をテーマに、コロナ禍の福祉の現場や活動、日常の中での「心の支えになった出来事」や「心温まるエピソード」を募集し、応募のあった56作品の移動型作品展「つなぐ福幸メッセ 2021」を県内各地で行いました。

この作品展には、多くの県民の方にご来場いただき、その会場では、エピソードを読まれての感想や福祉従事者や活動者に対する思い・メッセージ等のコメントも多数寄せられました。

本会では、これらの成果をもとに、この度、ショートムービーを制作し、現在、本会のYouTubeチャンネルにおいて公開しております。

また、作家の宮下奈都さんをはじめとする講評委員の皆さんの講評も紹介していますので、ぜひご覧ください。

## コロナ禍の災害ボランティアセンター運営に向けて

去る12月2日（木）、武生商工会館において「災害ボランティアセンター運営者研修」を開催しました。

研修には県内の市町社協職員、市の災害ボランティアセンター連絡会を運営する行政職員等21名が参加しました。

講師には、（特非）にいがた災害ボランティアネットワーク理事長 李仁鉄氏をお招きし、近年の災害ボランティアセンター運営の実際やコロナ禍でのセンター運営が抱える課題への対応等について、ご講義をいただきました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、必要性が増したITの導入についても、普段から使い慣れたツールでないと災害時に使いこなせないことや多様なSNSをどう使い分けるかなど、用途や状況に応じての具体的な指導がありました。

そのほか、地域住民や団体からセンター運営を協力いただくためのポイントや、外部の社協や団体からの受援に対する計画等を検討する必要性などを講義や意見交換をとおしながら学ぶことができました。

研修会の様子



### 基本目標 2

地域と福祉を支える  
担い手づくり

### 基本目標 4

新たな課題に取り組む組  
織・ネットワークづくり

### 5つのチャレンジ⑤

災害時福祉救援体制の  
強化

### 関連するSDGsゴール



## 災害に備えた協定団体間の連携を深める

本会では、災害時の地域福祉活動やボランティア活動の推進、施設の利用者支援機能の維持・補完などのため、各福祉関係団体や企業セクターと相互支援等に関する協定を締結しています。

団体	名称
県内市町社会福祉協議会	災害時における社協ネットワークによる相互支援協定
福井県老人福祉施設協議会 福井県身体障害者（児）援護施設連絡協議会 福井県知的障害者福祉協会 福井県社会的養護施設協議会 福井県民間保育園連盟	社会福祉施設種別協議会相互間の災害時応援協定
ライオンズクラブ国際協会 334-D 地区（富山・石川・福井エリア）	災害時における福祉・ボランティア活動支援に関する相互連携協定
日本青年会議所北陸信越地区福井 ブロック協議会	災害時における相互協力に関する協定

近年、大規模災害が頻発していることから、各協定の協働の輪を広げて協定団体間の連携を深めるための「災害に備えた協定団体連絡会議」を2月21日（月）に開催しました。

会議では、それぞれの協定内容や災害時・平時の各団体の活動内容を報告するとともに、過去の災害時の活動実績や課題等を共有しました。また、大規模災害に備えより多くの団体が相互に協力する必要があること、そのために平時から顔の見える関係を作っていくことの重要性を確認しました。こうした機会を引き続き設けながら、災害時における重層的な協働のあり方を探っていきます。



連絡会議の様子

## 第2回ふくい福祉就職フェア（嶺北・嶺南）開催

### 基本目標 2

地域と福祉を支える  
担い手づくり

#### 関連する SDGs ゴール



福井県福祉人材センターでは、福祉分野の仕事の魅力発信や、県内福祉施設等と求職者との就職マッチングの機会を創出することを目的に「ふくい福祉就職フェア」を開催しました。

また、フェア当日は、福祉施設の概要、仕事内容について分かりやすく説明する「福祉のお仕事セミナー」も開催し、福祉分野の仕事に対する理解促進を図りました。

本センターでは、今後も就職フェア等の各種事業を通じて、福祉の仕事の理解促進を図るとともに、福祉・介護・保育サービスを担う人材の発掘・確保に取り組んでいきます。

〔嶺北会場〕 令和4年3月5日（土）  
会 場 県社会福祉センター  
参加事業所数 71事業所  
参加者数 福祉のお仕事セミナー 44名  
職場説明・面談会 76名

〔嶺南会場〕 令和4年3月16日（水）  
会 場 県立若狭図書学習センター  
参加事業所数 16事業所  
参加者数 福祉のお仕事セミナー 8名、職場説明・面談会 7名



県社会福祉センターでのフェアの様子

## コロナ禍の生活福祉資金特例貸付が8回目の延長

新型コロナウイルス感染拡大の影響により収入が減少し、生活に困窮する世帯を対象とする特例貸付は、令和2年3月25日の開始以来7回受付期間が延長され、景気回復への兆しが見えていましたが、直近ではオミクロン株の拡大でまた先行き不透明な状況となっています。

このような中、政府は8回目の受付期間延長を決定し、令和4年6月末までとしました。

貸付金額は、すでに全国で1兆3千億円を超えていますが、未だ生活が大変な状況にある方は多く、生活を立て直すためには本貸付制度だけでは不十分です。特例貸付を終了した方等は、要件を満たせば新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の給付を受けられますが、これらのことも含め、必要な支援を行政等関係機関と連携しながら引き続き取り組んでいきます。

【本県における貸付実績】（開始から令和4年2月末現在まで）

- 緊急小口資金 989,600千円（延5,288件）
- 総合支援資金 2,870,950千円（延5,750件、延長・再貸付含）

### < 3月理事会・評議員会開催報告 >

3月7日（月）  
第5回理事会

- ①令和3年度第4次補正予算（案） ②令和4年度事業計画（案）  
③令和4年度当初予算（案） ④令和4年度資金運用について  
⑤経理規程の一部改正 ⑥常勤役員の報酬等（案）について  
⑦令和4年度役員等賠償責任保険の内容について ⑧第4回評議員会の開催について

3月15日（火）  
第4回評議員会

- ①令和3年度第4次補正予算（案） ②令和4年度事業計画（案）  
③令和4年度当初予算（案） ④常勤役員の報酬等の総額及び支給基準について

※いずれも原案のとおり承認されました。

### 基本目標 3

制度の狭間を生まない  
包括的支援体制づくり

#### 関連する SDGs ゴール

